

臨床実習

摂食嚥下リハビリテーション学

《担当者名》○教授/飯田 貴俊 tiida@ 教授/豊下 祥史 toyosita@ 准教授/川西 克弥 kawanisi@
 講師/菅 悠希 kanyuuki@ 助教/煙山 修平 shuheii-0912@ 助教/高田 紗理 stakada@
 助教/横関 健治 yokozeki@ 助教/合羅 佳奈子
 任期制助手/成田 幸平 kohei-n@

【概要】

相互実習では、摂食嚥下評価に重要なスクリーニングテストと、対応法として重要な間接訓練、直接訓練について体験し、シミュレーション実習では、嚥下内視鏡検査（VE）検査について体験する。講義で習得した知識を基に、技術の理解を図る。

【学修目標】

摂食嚥下障害の評価方法について説明する。
 摂食嚥下障害のスクリーニングテストについて適切に実施する。
 摂食嚥下障害の評価のための嚥下内視鏡検査について理解する。
 摂食嚥下リハビリテーションとしての間接訓練を実施する。
 摂食嚥下リハビリテーションとしての直接訓練を実施する。
 摂食嚥下障害のリスクマネジメントについて理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	相互実習 ・摂食嚥下スクリーニングテスト ・直接訓練 ・間接訓練 ・リスクマネジメント	摂食嚥下スクリーニングテストである、改訂水飲みテスト（MWST）や反復唾液嚥下テスト（RSST）、フードテストなどを理解する。 直接訓練として、顎部回旋法や顎引き嚥下法を理解する。 間接訓練として、頭部挙上訓練や舌抵抗訓練、プッシング訓練などを理解する。 リスクマネジメントとして、背部叩打法などを理解する。 E-2-4)-(11) E-5-1) E-5-2)	飯田 貴俊、豊下 祥史、川西 克弥、煙山 修平、菅 悠希、高田 紗理、横関 健治、合羅 佳奈子、成田 幸平
2	シミュレーション実習 ・嚥下内視鏡検査実習	口腔ケアシミュレーターMANABOTを使用して、嚥下内視鏡検査の操作方法、目的を理解する。 E-2-4)-(11) E-5-1) E-5-2)	飯田 貴俊、豊下 祥史、川西 克弥、煙山 修平、菅 悠希、高田 紗理、横関 健治、合羅 佳奈子、成田 幸平
3	臨床推論 臨床フィードバック	臨床症例を通じて、画像検査の評価を理解し、患者情報、全身のアセスメントと統合し診断、治療計画の立案について理解する。 E-5-1) E-5-2) G-1-1) G-2)	飯田 貴俊、豊下 祥史、川西 克弥、煙山 修平、菅 悠希、高田 紗理、横関 健治、合羅 佳奈子、成田 幸平

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

臨床実習 で課せられた課題とケース数の総合評価（ミニマムリクワイアメントは別途提示）とする。

【教科書】

よくわかる高齢者歯科学 第2版 永末書店 佐藤裕二、植田耕一郎、菊谷 武 編 2023年

【参考書】

新版歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 医歯薬出版 向井美恵、山田好秋、井上 誠、弘中祥司 編著 2019年
摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版 才藤栄一、植田耕一郎 監修 2016年

【備考】

Googleフォームを使用して理解度を確認する。

【学修の準備】

予習として、該当する項目について4,5年次の『高齢者・障害者歯科学』および『口腔機能リハビリテーション学』の講義内容を復習しておく(50分)

復習は、教科書、プリントなどを活用し、理解を深める(50分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

DP4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

【実務経験】

飯田貴俊(歯科医師)、豊下祥史(歯科医師)、川西克弥(歯科医師)、煙山修平(歯科医師)、菅 悠希(歯科医師)、高田紗理(歯科医師)、横関健治(歯科医師)、合羅 佳奈子(歯科医師)、成田幸平(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

口腔機能のリハビリテーションに関して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している